



子ども週末チャレンジ 餅つき体験

# 12月定例会・第5回臨時会(11月)

## 定例会

議案要旨	P 2
議案審議	P 3
採決状況	P 4
一般質問	P 5 ~ P 10

委員会のうごき	P 11 ~ P 13
委員会活動報告	P 14
議会活動報告	P 15
町民交流会開催結果	P 16 ~ P 17
町民の声	P 18

# 議員定数条例の一部改正を可決

9月定例会での浪江町議会議員定数調査特別委員会による調査報告を受け、全員協議会での慎重審議を重ね、議会運営委員会ではこの報告内容を尊重し、浪江町議会議員定数を現在の「16人」から4人削減した「12人」に改める議案を提出しました。

採決は、賛成12反対2で原案可決となり、新たな議員定数は次の一般選挙（令和7年4月）から施行されることとなります。



## 要旨

12月定例会は、12月6日から13日までの8日間を会期として開催しました。

町長からは条例の制定・改正、契約の締結、令和4年度補正予算、人事案件など18件の議案が提出されました。また、議会からは2件の議案を提出し、これらについて審議を行いました。

議案の主な質疑内容は3ページ、審議結果（採決状況）は4ページに掲載のとおりです。

### 【主な議案等の内容】

- 浪江町職員の定年引上げに関する整備条例の制定については、地方公務員の定年引上げに係る地方公務員法の一部改正に伴い、関係条例の所要の改正をするものです。
- 一般職の任期付職員の採用等に関する条例及び職員の給与に関する条例については、福島県人事委員会の給与勧告及び地方公務員の定年引上げに係る地方公務員法の一部改正に伴い、条例の一部改正をするものです。
- 町長等の諸給与支給に関する条例及び議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例については、令和4年10月5日に発表された福島県人事委員会の給与勧告に基づく、町長・副町長・教育長及び議員の期末手当の率の改定に伴い所要の改正を行うものです。
- 契約の締結のうち、地デジ再送信システム復旧工事【1億1550万円】は、室原地区、末森地区、津島地区の特定復興再生拠点区域内にある地上デジタル放送難視聴世帯を対象に、浪江町役場局と津島局にあるテレビ電波を受信するための設備及び受信した電波を光信号に変換する設備の機器を更新し、難視聴世帯まで送信する装置を設置します。また、室原共聴伝送路設備として新たに難視聴地域に光ケーブルの敷設工事をするものです。
- 補正予算のうち、一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1億8442万円増額するもので、これにより予算総額は354億7112万2千円となります。

### 《歳出補正予算の主なもの及び理由》

合併処理浄化槽維持管理費補助金	2030万円	合併浄化槽を設置している方を対象に、維持管理にかかった経費に対して1世帯につき5万円を限度に補助するもの
畜産業費	3億1276万3千円	主に畜産施設の敷地造成工事におけるコンクリート二次製品等の資材単価高騰及び雨水対策工事やのり面対策工事の追加による工事請負費の増額によるもの
企業誘致促進費	1億773万8千円	主に木材製品生産拠点における防風・防音壁の設置及びサイレンサー設置に係る調査設計費の計上などに伴う委託料の増額及び工事請負費の増額によるもの
防災対策費	▲2億166万5千円	主に防犯業務委託料の請差に伴う減及び防災拠点整備工事などの減額によるもの

## 主な質疑内容を報告します。

(囲み数字は議案番号)

### 契約の締結

**75** 工事請負契約の締結について(室原地区防災拠点新築工事(建築))  
[9億6250万円]

室原字八龍内地内に管理棟、倉庫、駐輪場兼災害用トイレなどの建築工事をするものです。

**質問(山崎)** 入札の結果、5回目で落札になっていきます。なぜ5回目までかかったのか。予定価格は適正であったのかお伺いします。

**佐藤副町長** 入札にかかる予定価格については、県の単価とか、共通の歩掛等により適正に積算しております。入札の回数については、現在制限を設けていませんが、今後、近隣の状況

等を踏まえて、入札等の回数を検討していきたいと考えております。

**質問(山崎)** ①現況は、原油高、物価高騰、資材高騰の状況です。予定価格を適正に今の物価にスライドして、しっかりと積算すべきで、今の現況を考えれば、少し上乗せをするということが、求められるのかと思いますが、今後、どういうふうにされるのかお伺いします。

②工期は、再来年の1月ですが、資材の調達で、なかなか資材が手に入らない中で、2か月間余裕を見て3月でもよかったのではないかと思います。工期の設定について、どのような検討をされたか伺います。

による標準工期に合わせておりますので、今回の工期となっております。

**76** 工事請負契約の締結について(室原地区防災拠点新築工事(電気設備))  
[1億6610万円]

室原地区防災拠点施設の各種照明器具や設備の配置、屋外の街灯などの整備をするものです。

(賛成全員で可決)

**質問(山崎)** 万が一、停電の場合の電源はどうされるのか伺います。

**総務課長** 非常用発電設備での対応としています。

**質問(山崎)** ①非常用発電機とはオイルで発電されるということでしょうか。

②安定という面では心配されますが、太陽光とかを取り入れてもよかったですと思いますが、どのような検討をされたか伺います。



室原地区防災拠点 (イメージ)

**総務課長** ①オイルで発電機を回す形になっていきます。

②太陽光も検討はしましたが、費用の関係及び駐車場をヘリポートとしても活用する関係があり、太陽光発電の設備がありますと、風圧で破損する可能性があるため、太陽光は使えないという結果となっております。

(賛成全員で可決)

### 人事案件



**同6** 監査委員の選任

11月末で辞任された山本邦一氏の後任委員として、宮口勝美氏(室原)を選任しました。

**同7** 副町長の選任

佐藤良樹副町長が令和4年12月16日をもって任期満了となることから、山本邦一氏(室原)を副町長に選任しました。

**同8** 固定資産評価員の選任

山本邦一氏(室原)を選任しました。

## 令和4年12月定例会の採決状況 (12月13日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
		議決結果	武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	平本佳司	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	
議案第71号	浪江町職員の定年引上げに関する整備条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第72号	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第73号	町長等の諸給与支給に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第74号	職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第75号	工事請負契約の締結について（室原地区防災拠点新築工事（建築））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第76号	工事請負契約の締結について（室原地区防災拠点新築工事（電気設備））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
議案第77号	工事請負契約の締結について（室原地区防災拠点新築工事（機械設備））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第78号	工事請負契約の締結について（地デジ再送信システム復旧工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第79号	令和4年度浪江町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
議案第80号	令和4年度浪江町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第81号	令和4年度浪江町国民健康保険直営診療施設事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第82号	令和4年度浪江町公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第83号	令和4年度浪江町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第84号	令和4年度浪江町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第85号	令和4年度浪江町水道事業会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
同意第6号	監査委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
同意第7号	副町長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
同意第8号	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	3
発委第2号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
発委第3号	浪江町議会議員定数条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2
	委員会の閉会中の継続審査又は調査の申し出について	決定	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 令和4年第5回臨時会の採決状況 (11月7日採決)

議案番号	議案 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	関連ページ
		議決結果	武藤晴男	紺野豊	吉田邦弘	平本佳司	小澤英之	半谷正夫	紺野則夫	佐々木茂	山本幸一郎	高野武	渡邊泰彦	松田孝司	佐々木勇治	山崎博文	紺野榮重	
議案第68号	工事請負契約の締結について（二本松事務所解体工事）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第69号	工事請負契約の締結について（菅原橋橋梁災害復旧工事（上部工））	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
議案第70号	令和4年度浪江町一般会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-



※平本佳司議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。  
 ※閉会中の継続審査は採決を行いません。  
 ※定例会・臨時会の会議結果は町ホームページでもご覧になれます。



## 5 議員が質問

### ■高野 武 (6ページ)

- (1) 東京電力の処理水海洋放出を問う
- (2) 水産加工団地に進出の食品加工会社について問う
- (3) にじいろこども園、創成小、中の新入生と、プール建設の考えは
- (4) 日揮、ミライ水産との立地締結内容全般を問う
- (5) 雇用問題全般を問う

### ■山崎 博文 (7ページ)

- (1) 令和5年度の施政方針について
- (2) 復興計画(第3次)の見直しについて
- (3) 福島国際研究教育機構(F-REI)の受け入れ環境整備について
- (4) 教育行政について

### ■小澤 英之 (8ページ)

- (1) 移動期日前投票所について
- (2) 男性用個室トイレにおけるサンタリーボックスの設置について
- (3) 仮設商業協同店舗施設「まち・なみ・まるしえ」について
- (4) 公営住宅について

### ■松田 孝司 (9ページ)

- (1) 町内生活環境について
- (2) 駅周辺整備について
- (3) 文化財について

### ■佐々木 茂 (10ページ)

- (1) 住宅政策について
- (2) 語学教育について
- (3) 老健施設「貴布祢」について
- (4) 酒井行政区の中山間直接支払制度の運用について

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員の質問・答弁を合わせて1000文字程度に要約していますので、ご了承ください。

# 町政と問う

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め、政治的姿勢を明らかにするものです。そのことにより、現行政策の変更、是正あるいは新規政策の採用などの効果があります。





● 高野 武 議員 ●

**Q** 処理水放出に対し町の見解は

**A** 町づくり阻害要因の旨を表明

処理水海洋放出

**質問** 汚染水処理施設のア  
ルプス、サリーでも取り除けな  
い12核種があり、その中には気  
の遠くなるような半減期を持つ  
核種もあります。

これらは通常運転の原発排水  
には含まれていないことから、  
長い間取り続けた場合、食物連  
鎖の頂点に立つ人類に影響がな  
いとは断言できないと思われま  
す。

この先の見えない不安こそが  
風評を生む最大の要因であるこ  
とから、町として海洋放出が身  
近に迫る中で今後の対応と対策、  
要望活動としてどのような項目  
を重点に考えているのか、具体  
的に伺います。

**町長** 国の責任の下、十分  
な対策と風評被害が完全になく  
なるまで万全の支援を行うべき  
ことを町の意見として伝えてお  
り、さまざまな機会を捉え一貫  
して意思を示していきます。

水産加工団地

**質問** 水産加工団地進出企  
業の件で建物は完成したように  
見受けるが稼働しているように  
は見えないことから以下の点を  
伺います。

(1)工場の竣工はいつ頃か、稼働  
までの時間的制限(目安)は  
あるのか。

(2)稼働しなかったのは人手不足  
なのか、原材料不足なのか。

(3)竣工から約2年間近く稼働し  
ていないことで、国の方から  
何か苦情はなかったのか、今  
後の企業誘致活動に影響は出  
ないのか。

農林水産課長

(1)令和3年2  
月28日で、制限はありません  
が半年以内に稼働していただ  
くことを目安と考えておりま  
す。

(2)人手不足と聞いており、原材  
料は確保できるとのことです。

(3)国へ報告した際には、早期の  
稼働を指示いただき、町とし  
ても大きな問題と認識してお  
り、事業者には本格稼働に向  
け強い働きかけを行っていき  
ます。

プール建設

**質問** 異常気象と言われる  
中、猛暑日には水泳の授業は欠  
かせないものと思われます。

放射線の関係で夏休み中も川  
や海で遊ぶこともできない子供  
たち、近年増加傾向にある、園  
児、児童、生徒たちのためにも  
必要な施設であると考えますの  
で、プール建設計  
画はあるのか財源  
問題と併せて伺  
います。

教育次長

「こども園」では今年度  
システムプールを  
寄贈いただき園庭  
内で使用しており  
ます。

プール建設は児  
童生徒数が少ない  
ことから、維持管  
理経費も考えて新  
設ではなく近隣の  
施設をお借りして  
状況を見ながら整  
備を検討していく  
こととしておりま  
した。  
今後は児童生徒



プール整備を待つ創成小・中

数も増えておりますので、お借  
りしている施設の調整状況をよ  
く考えながらプール建設を計画  
的に検討していきます。  
財源については文部科学省の  
交付金にプール整備事業があり  
ますので、そういったものを検  
討しながら進めていきます。



● 山崎 博文 議員 ●

**Q** 国際研究教育機構の立地決定を受け、本事業を所管する「課もしくは室」を来年度新設すべきでは

**A** 現在、「課もしくは室」の新設の方向で検討を進めているところです

**質問** 国際研究教育機構

(FIREI)の立地が決定しました。本事業の情報収集や共有等のため国・県との連携強化を図ることが重要であると思えます。対外的窓口や事務的業務、そして、役場内の司令塔として、本事業を所管する「課もしくは室」を来年度新設すべきと考えますが、ご所見を伺います。

**総務課長**

町長より、FIREIに係る新たな部署の設置について事務機構改善委員会に諮問があり、現在、「課もしくは室」の新設の方向で検討を進めているところです。

**国際化に対応する施策は**

**質問**

FIREIが段階的に機能開始すれば被災地視察ツアーも今以上に活発になり、特に外国人などの来町者が数多く見込まれるものと思えます。国際化に対応する施策として駅前を整備される商業施設や棚塩産業団地、震災遺構の請戸小学校などに自治体WiFiを導入してはいかがでしょうかと思えますが、ご所見を伺います。

**成井副町長**

今後、外国人の研究者をはじめとする多くの外国人が来ることを予想されますので、その方々の利便性の向上に向け、関係各課とも連携・協力しながら、公共施設における無料WiFiの導入について検討していきたいと考えております。

**質問**

国際化に対応することは教育行政にも求められると思います。園児をはじめ児童・生徒の英語力の向上、特に英会話教育を重視すべきと思います。今後の授業への取組みについてお伺いします。

**教育長**

児童・生徒の英会話力の向上に向け、デジタル教科書の活用も含め、ALT※のより効果的な活用について指導主事による校内研修の一層の充実を図り、教員の指導力の向上に努めるとともに、英会話にも対応したAI教材の導入をいたしましたので、その活用も進めていきたいと考えております。

**中間指針の見直しを検討されているが、その対応は**

**質問**

原賠償審は、生活基盤が変わったことによる精神的な損害を居住制限区域と避難指示解除準備区域についても認めることを決めたほか、着のみのまままで過酷な避難を余儀なくされた精神的損害についても賠償の対象となることを決めました。

また、今後も相当量の放射線量の地域に滞在した健康不安、介護が必要な人や障害がある人への賠償の増額などについて具体的な見直しを検討することにしています。

今後、国、東電にどのような対応を求めていくか、お伺いします。

**町長**

被害者への賠償が迅速かつ完全に実施されるよう確実な対応を求めてまいりますとともに、賠償請求に関しましては町民の皆様にご不便が生じないよう周知、請求支援などに努めてまいります。

**応援大使等の創設についての考えは**

**質問**

復興等の発信や地場産品の良さを宣伝・普及等を目的に、文化、芸能、スポーツ等の分野で活躍している方々に、応援大使や親善大使などとして委嘱している自治体があります。応援大使等の創設についてのお考えを伺います。

**総務課長**

応援大使の活用により町の魅力や復興等の発信、地場産品等のPRをしていくことは、本町の知名度を高める上で大きな効果を発揮するものと考えておりますので、他自治体の事例等を参考にしながら、今後、検討していきたいと思えます。

※ALTとは、外国語指導助手のことです。



● 小澤 英之 議員 ●

**Q** 次回選挙も、移動期日前投票所の設置を

**A** 場所、回数を含めて、効果的で利便性を  
図るよう設置検討

**質問** 各移動期日前投票所における利用者数、主な意見について伺います。

**選挙管理委員会書記長** 第6移動期日前投票所（北原団地集会所）は51人、第7移動期日前投票所（南町団地の集会所）63人、第8移動期日前投票所（福島市北沢又団地大和田集会所）が94人となっております、町民の方からは投票所が近くなって便利だというふうな意見がありました。



**男性用個室トイレにおけるサニタリーボックスの設置について**

**質問** 病気の方や高齢の方

が安心して外出できる環境を整えるとともに、性の多様性の観点からの配慮として男性用個室トイレにサニタリーボックスの設置をすべきと考えますが、その取扱いについて伺います。



**「まち・なみ・まるしえ」**  
**について**

**質問** 「まち・なみ・まるしえ」のチャレンジショップ入居期間（1年間）について、柔軟性をもった取扱いができないかについて伺います。

**産業振興課長** この事業の目的は、町内へ出店を促すことであり、そのため、お試しの場と

して提供できるものとして1年間という期限を設けました。今後は、柔軟な対応の変更は必要であると認識しておりますので検討いたします。

**質問** 「まち・なみ・まるしえ」の今後の課題を含めてどのような取り扱っていく方針なのか伺います。

**産業振興課長** 現段階として、令和8年3月まで使用することが出来ます。商店の活性化、にぎわい復活という目的に向かって公正・公平な方法で取り扱っていきたいと思っております。



**公営住宅について**

**質問** 現在整備されている公営住宅は201戸ですが、この入居条件が厳しいことから緩和または撤廃し、誰もが入居することができるよう変更することは可能か伺います。

**住宅水道課長** 法律に基づく入居資格要件を満たす応募者が現在も一定数あることから条件を緩和することは難しい状況です。応募者が少なくなってきたときは、関係機関と協議し緩和することを検討します。

**質問** 浪江駅周辺整備計画における住宅建設計画の進捗状況及びその他の公営住宅建設計画はどのようなようになっているのか伺います。

**住宅水道課長** 浪江駅周辺整備計画における住宅建設計画の進捗状況につきましては、今年度において建築基本設計を実施しているところであります。その他公営住宅建設計画につきましても、今のところ新たに整備する計画はありません。浪江町移住者向けについては、住宅支援事業として家賃の一部補助を行っております。





● 松田 孝司 議員 ●

**Q** 帰還者の少ない行政区について  
どう取り組むのか

**A** 町内コミュニティの再生が図れるよう  
必要な支援を行っていきます

行政区について

**質問** 行政区によって、半数近く戻っているところと幾らも住んでいないところがあり、身動きの取れない行政区があります。帰還者の少ない行政区について、今後どういった取り組みをする考えなのか、お伺いします。

**総務課長** 町ではコミュニティ再生支援事業や行政区活動補助金等により、コミュニティの再生に向けた行政活動を支援推進しているところです。今年度に入ってから、既存の住民の方と震災後新たに移住されてきた住民の方とで防災組織の設立に向けた活動が生まれたところもあります。今後もこうした活動が活発化し、町内のコミュニティの再生が図れるよう、必要な支援を行っていきます。

東西自由通路について

**質問** ふれあいセンターなみえなどが完成し、駅周辺グラウンドデザイン基本計画が発表さ

れ、令和8年度事業完了を目指して町では取り組んでいるところです。そして、福島国際研究教育機構が駅の南西に決定し動き始めています。これから、県内外から多くの方が、町・駅周辺を訪れることと思います。今後、東西自由通路の早期完成が一番望まれていると思いますが、現在JRとの交渉はどうなっているのか、お伺いします。

**建設課長** 現在、東西自由通路・駅舎の整備に関する基本協定締結に向け、施設の位置・規模などの基本的な事項についてJRとの協議を進めているところです。協議を迅速に行い、基本協定を早期に締結できるように努めていきます。

文化財について

**質問** 旧大堀小の南東の角には土井晩翠の碑文、高瀬には筑前藩士の墓や高瀬の清水など、そのほかにも数々、町内には史跡・旧跡など貴重な文化財があるのではないかと思います。ただ、看板も掲示の標示もなく、案内標柱や説明文・案内文など

あれば、より多く触れると思いますが、どう考えているのかお伺いします。

**教育次長** 国や県、町の指定となつている文化財については震災前より、それぞれ所有者または管理者と相談しながら、説明看板などの設置を行ってまいりました。今後、調査をし、修繕等が必要な場合は対応をしていきます。

**質問** 名所旧跡あると思

ますが、史跡観光マップなど作成してあるのか、そして、なければ今後作成の考えがあるのか、お伺いします。

**教育次長** 震災前になります。が、町内の有形・無形文化財や埋蔵文化財の分布などを示した浪江町文化財分布図を作成しています。現在、埋蔵文化財の発掘調査が進められていることもあり、埋蔵文化財発掘調査の進捗を見ながら、浪江町文化財分布図の改訂を検討していきます。



土井晩翠 歌碑 (大堀小学校跡地)



● 佐々木 茂 議員 ●

**Q** F-R-E-Iの誘致が決まり今後語学、特に英語教育が重要と考えています。その取り組みについて

**A** 教員の英語指導力向上と児童、生徒の英語力向上に一層の充実に努めていきます

住宅政策について

**質問** F-R-E-Iの仮事務所が来年4月開所が決まり、職員の住宅確保は現時点で可能ですか。

**成井副町長** 来年の開所について、何名の職員が常駐するかは未定です。国と情報共有を図っていきたくと思います。

**質問** 外国人を含めた研究者に対して、居住環境の整備は必要です。良好な住宅を提供し、浪江に住んでいただくことは重要な課題です。整備についての考えをお伺いします。

**成井副町長** 数百名の研究者が機構の研究に参画されるとお聞きしています。どれくらいか、研究者が当町に居住するかは、見通しを含め国に示すよう求めていきます。住宅事情の把握に努めながら民間事業者の力も借りながら取り組みます。

**質問** 駅前再開発に伴う集合住宅の入居条件をお伺いします。

住宅水道課長

駅前には再生賃貸住宅の整備を計画しています。入居資格要件は所得が月額48万7000円を超えない方、平成23年3月11日に町内居住の方、町に移住する方となります。

**質問** 東京電力の廃炉職員の住宅を当町へ誘致する考えはありますか。

**総務課長** 居住人口や町活性化を図る上で大きな効果をもたらすものと考えています。東京電力、関連事業者で計画があれば関係部署と連携の上、誘致等を図りたいと考えます。

老健施設「貴布祢」について

**質問** 老健施設「貴布祢」を存続させるかどうか町としての考えをお伺いします。

**介護福祉課長** 比較的新しい施設であり、有効に活用していただきたいと考えております。所有者である渡辺病院からは報告はありません。また、現段階では購入について検討はしておりません。



利用計画が未定です（貴布祢）

て検討はしておりません。

中山間直接支払制度について

**質問** 中山間直接支払制度とはどのようなものですか。

**農林水産課長** 農業生産条件で不利な中山間地域において、集落等を単位に維持管理していくための取り決めを記した協定

を締結、農業生産活動などを行う場合に、面積に応じて一定額を交付する制度です。

**質問** 行政区との関わりはどのように考えておりますか。

**農林水産課長** 農業生産活動を継続するためには、地域の生活環境維持と密接な関係があります。

**質問** 交付金の交付とその使途はどのように考えておりますか。

**農林水産課長** この制度は協定書を結び、受取は集落の代表者が受け取るとされています。交付金の使用方法等は協定参加者の話し合いにより、地域の実情に応じた幅広い用途に活用できます。集落協定の総会等で、行政区に対して共同取組活動に必要な支出をすることを決定すれば、使用は可能となります。

## ● 総務常任委員会 ●



委員長 渡邊 泰彦  
副委員長 小澤 英之  
委員 高野 武  
松田 孝司

総務課、企画財政課、住民課、津島支所、出納室が所管する案件を審議しています。

### ■ 企画財政課 ■ コワーキングスペース※「ナミエシンカ」の内容は

**問** 10月31日開所された「ナミエシンカ」の目的と場所は。

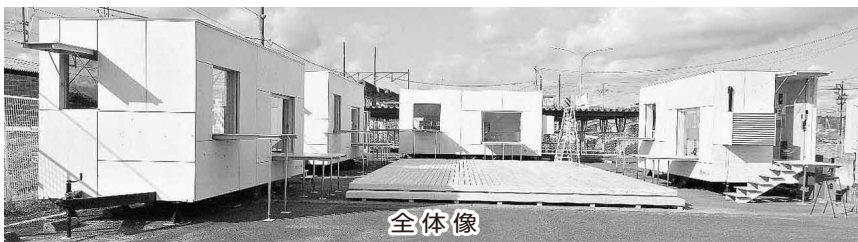
**答** 起業家・事業者に対する活動支援の場、町民同士の交流の場として活用し、交流人口の拡大や移住・定住の促進を図る目的です。場所は、駅東側駐車場です。

**問** ナミエシンカの取り組みは。

**答** 浪江町での起業から事業支援までメンバーの進化・深化を支援し、真価を発揮するプログラムを提供します。

**問** 誰でもが利用可能か。また、利用者数は。

**答** 会員登録だけで無料で利用できます。11月末日現在で、登録者105人、利用者は73人となっています。



全体像



内部

※コワーキングスペースとは、さまざまな年齢、職種、所属の人たちが空間を共有しながら仕事を行うスペースのことです。

### ■ 総務課 ■ 室原地区防災拠点における建設計画は

**問** 室原地区防災拠点に建設計画における工事概要、完成時期は。

**答** 工事概要としては、管理棟、倉庫棟各1棟で鉄骨造1階建です。完成予定は、令和6年1月となっております。



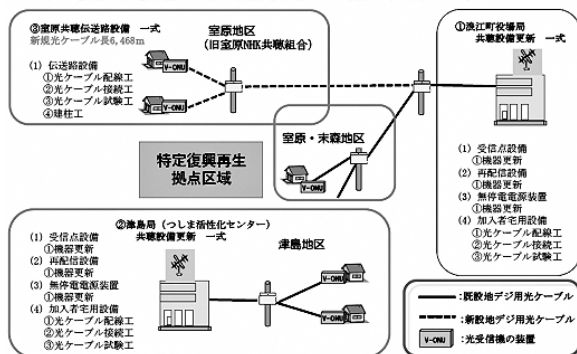
完成イメージ

### ■ 企画財政課 ■ 地デジ再送信システム復旧工事の内容は

**問** 地デジ再送信システム復旧工事が予定されているが、その内容は。

**答** ①工事の概要については次の通りです。

本工事は、①浪江町役場と②津島局（つしま活性化センター）にあるテレビ電話を受信するための設備及び受信した電波を光信号に変換する設備の機器を更新し、難視聴世帯まで送信する装置を設置します。また、③室原・末森地区に設置した新たな難視聴地域に光ケーブルを敷設する工事を行います。



②対象世帯としては、室原地区103世帯、末森地区37世帯、津島地区12世帯です。

※詳細については企画財政課情報統計係（0240-34-0241）まで問い合わせ願います。

## ● 産業・建設常任委員会 ●

産業振興課、農林水産課、住宅水道課、建設課、農業委員会が所管する案件を審議しています。

委員長 紺野 則夫  
副委員長 武藤 晴男  
委員 紺野 豊  
山本幸一郎  
山崎 博文



### ■ 住宅水道課 ■ 住宅に関する補助金は

**問** 住宅に関する支援金・補助金は、どうなっているのか。

**答** 被災者生活再建支援金のほか、町内の住宅に関し、住宅清掃補助金（上限15万円）、住宅再建補助金（上限25万円）、住宅鳥獣被害対策補助金（最大10万円）、住宅用再生可能エネルギー設置等補助金、津波被災住宅再建補助金が受けられます。  
※詳細については住宅水道課住宅係（0240-34-0232）まで問い合わせ願います。

### ■ 産業振興課 ■ 町内各産業団地の立地は

**問** 産業団地の立地状況は。

**答** 北産業団地では、日揮(株)／かもめミライ水産(株)と「陸上養殖イノベーションセンター立地に関する基本協定」を締結しました。また、(株)バイオマスレジック福島 浪江工場が竣工しました。南産業団地では、八島運送(株)と「物流施設立地に関する基本協定」を締結しました。

### ■ 農林水産課 ■ ニホンザル対策は

**問** ニホンザル対策事業の実施状況は。

**答** 川房群、山麓線群、高瀬川群のテレメトリー※調査などをして被害状況等を把握していきます。

また、大型檻を導入してニホンザルの捕獲をします。

※テレメトリーとは、野生動物の身体に発信機を装着し、地上のアンテナや人口衛星などの間で送受信される電波の情報から動物の移動を追跡する技術です。



### ■ 建設課 ■ 町内インフラ整備工事は

**問** 道路整備工事の進捗状況は。

**答** 津波被災地排水対策のため測量をおこないました。

**問** その他の事業の進捗状況は。

**答** ①町道・河川敷の除草作業を完了しました。  
②丈六公園整備事業は令和4年12月末に完成しております。  
③浪江駅前周辺整備事業は都市計画変更に関する住民説明会を開催しました。  
④国道114号防犯灯設置工事は令和4年度20基施工中です。



整備された丈六公園

## ● 文教・厚生常任委員会 ●



委員長 佐々木 勇治  
副委員長 吉田 邦弘  
委員 半谷 正夫  
佐々木 茂  
平本 佳司  
紺野 榮重

教育委員会、健康保険課、介護福祉課、浪江診療所、仮設津島診療所が所管する案件を審議しています。

### ■ 介護福祉課 ■ ふれあい福祉センターの 利用状況は

**問** ふれあい福祉センターのデイサービスの利用状況は。

**答** 今年の7月5日より事業を開始し、利用状況は下記のとおりです。

月	新規契約者数	利用者数(延べ人数)
7月	13人	44人
8月	6人	102人
9月	2人	128人
10月	3人	147人
11月	7人	155人
合計	31人	576人

### ■ 教育委員会 ■ ふれあいげんきパークの 安全対策は

**問** ふれあいげんきパークのボルダリングの使用による安全面の対応はどうなっているのか。

**答** スタッフが初めて利用する方に対して、使用上の説明をし、監視カメラにて利用状況の確認をしていますので、緊急時には至急駆け付けられるようになっております。また、危険な使用者に対してはボルダリング室に行き、注意を促すようにしています。

### ■ 教育委員会 ■ 復興海浜緑地 (多目的広場) の進捗状況は

**問** 復興海浜緑地 (多目的広場) はどうなっているのか。

**答** パークゴルフ場9ホール、4コースを計画し、1・2コースは初・中級者コースで3・4は上級者コースの整備を予定しております。災害時は防災バックアップスペースとしても活用できるようにし、令和7年から8年を完成予定としております。



復興海浜緑地 (多目的広場) の整備計画 (イメージ)  
※レイアウト等が変更される可能性があります。

### ■ 浪江診療所・仮設津島診療所 ■ 健康診断の実施状況は

**問** 浪江診療所は健康診断を実施しているが、仮設津島診療所はどうか。

**答** 仮設津島診療所は健康診断を希望する方がいないため実績がありません。

### ■ 浪江診療所・仮設津島診療所 ■ 医師の定年はあるか

**問** 議案第71号「浪江町職員の定年引上げに関する整備条例の制定について」では医師の定年は70歳となっていますが、現在の診療所の医師はどうか。

**答** 職員ではなく委託契約による勤務のため、定年は適用外です。

## ● 議会報編集特別委員会視察研修報告 ●

### 視察者

委員長 高野 武  
副委員長 紺野 豊  
委員 武藤 晴男  
小澤 英之  
佐々木 茂

### 目的

東日本大震災及びこれに伴う原発事故により全町民が避難生活を余儀なくされた。平成29年の3月末より帰還困難区域を除き避難指示が解除され、町内に帰還した町民及び移住・定住した町民は約1900人であり、未だ多くの町民が町外での避難生活をしている。

そのような状況の中、議会活動について町民の正しい理解と関心を深められるよう、伝える「議会だより」を発行するために、町村議会広報表彰にて数多く受賞されている岩泉町議会を視察し、当町議会広報編集に資するため。

### 視察日

令和4年11月10日(木)～11月11日(金)

### 視察先及び視察内容

#### (1) 岩泉町龍泉洞

初めに龍泉洞内を見学し、レストハウス2階に移動後、岩泉町の概要及び平成28年8月30日の台風10号被災における龍泉洞の復旧・再生・広報状況、並びに被災直後の安家支所の対応について説明をいただいた。

#### (2) 岩泉町議会

##### ① 広報広聴常任委員会の経過

岩泉町議会広報の発行に関する条例（平成2年制定）に基づき広報編集委員会を設置。編集委員6人と事務局で共同編集を行っていたが、第169号（平成26年11月1日）から議員がメインとなって取材から編集作業まで行うことに決定。平成28年岩泉町議会委員会条例を一部改正し、広報広聴常任委員会を設置。委員定数は6人であり、任期は4年（議員の任期中）である。委員会の現構成は1期2人、2期2人、3期1人、4期1人の6人となっている。

##### ② 編集方針

町民参加で読み易い議会だよりを目指している。

- ア. 読み易い紙面づくり
- イ. 見出しでわかる紙面づくり

##### ③ 編集方法

- ア. スピード発行  
定例会終了後30日程度での発行を目指している。
- イ. 写真の記事に関連したものの活用をしている。
- ウ. QRコードの活用

##### ④ 各委員の所感

- ア. 議会報編集が「町民参加型」であり、紙面が読みやすい工夫がされていた。
- イ. 記事を読み手目線で編集されていた。
- ウ. 記事のシリーズ化をしていた。
- エ. 文字数を制限しているが、制限してもわかりやすいよう工夫をしていた。
- オ. 「基本方針」「編集方針」等多々参考なる事柄が多く、導入に向けて協議すべきと感じた。
- カ. 町民の意見を訊くという目的で、議員それぞれがカメラを持ち取材していた点はとても参考になった。



### 総括

龍泉洞における平成28年8月台風第10号による豪雨災害の復興及び管理経営は岩泉町直営で行っており、龍泉洞観覧料をもって龍泉洞の維持管理のほか、町の観光振興も実施している。災害による営業再開は県による補助金でこぎつけたとのことであります。

当町においても東日本大震災から11年が経過し、町の復旧・復興途中であり、岩泉町に負けまいよう尽力したいと考えました。

岩泉町議会の議会だよりについては、町民参加の読み易い議会だよりを目指し、スピード発行を目指している点は参考になりました。

また、なみえ議会だよりNo.176号を高覧、感想をいただき、改善点の一つは見出しの工夫をすること、2つ目は見出しの字数を短くすることに心がけ、今後町民の皆さんが喜んで頂ける議会だよりを作成するため、委員会で編集・発行実現できるように努力をいたします。

# 議会活動の経過報告 10月13日～ 令和5年1月12日

(定例会及び臨時会中の全員協議会・各委員会を除く)

## 10月

- 19日 • 双葉地方町村議会議長会議議長会議 (富岡町)
- 24日 • 町村議会議員研修会 (郡山市)

## 11月

- 2日 • 議会運営委員会
- 福島第一原子力発電所視察
- 7日 • 第5回臨時会 ※1
- 全員協議会
- 9日 • 第66回町村議会議長全国大会 (東京都)
- 10日 • 双葉地方町村議会議長会要望活動 (東京都)
- 議会報編集特別委員会行政視察 (~11日) (岩手県岩泉町)
- 14日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会保健衛生常任委員会 (富岡町)
- 15日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会消防厚生常任委員会 (富岡町)

- 16日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会総務常任委員会 (富岡町)
- 19日 • 町民交流会 (~20日)
- 25日 • 双葉地方広域市町村圏組合議会議会運営委員会 (富岡町)
- 双葉地方広域市町村圏組合議会定例会 (富岡町)
- 29日 • 議会運営委員会

## 12月

- 6日 • 12月定例会 (~13日) ※1
- 27日 • 議会報編集特別委員会

## 1月

- 7日 • 二十歳を祝う会
- 10日 • 議会報編集特別委員会
- 12日 • 議会報編集特別委員会

※1 本会議の出欠状況は、町ホームページ(浪江町議会→会議結果一覧)をご覧ください。



## 福島第一原子力発電所を視察

令和4年11月2日(水)に福島第一原子力発電所を視察しました。ALPS処理水希釈放出設備及び関連施設設置工事などの説明を受け、現状を確認してきました。



### 議会の傍聴について

本会議は、原則として一般に公開されております。どなたでも傍聴できますのでお気軽にお越しください。

本会議場入口に「傍聴人受付簿」を備えてありますので、必要事項を記入のうえ、議場後方の傍聴席で傍聴してください。

なお、多人数の団体で傍聴される場合は、あらかじめ議会事務局へご連絡ください。

### 議会における 情報公開の施行状況

令和4年における浪江町議会の情報公開の状況は、次のとおりです。

情報公開請求件数 0件  
情報公開件数 0件

# 十日市祭にて町民交流会を 開催いたしました

令和元年に議会報告会開催後、新型コロナウイルス感染症対策の観点により、町民の皆さまから直接意見を聴く機会を設けることができませんでした。昨年度に実施いたしました「議員定数に関する町民アンケート調査」での結果では、皆さまより議員活動が見えないとのご意見も多くありました。

そこで、町内で開催された十日市祭において、屋内のブースにおいて議員と町民の交流の場を設け、町民の皆さまより議会に対して直接意見をいただく大切な機会となる交流会を開催いたしました。

議会の役割は、町民の様々なご意見を町の施策に反映させることが第一であります。皆さまからいただきました貴重なご意見・ご提言をしっかりと受け止めて、議会として町をはじめ、国、県などの関係機関に働きかけてまいります。議会に対する厳しいご意見もいただいておりますので、真摯に受け止めしっかりと改善してまいりたいと思います。

なお、今後もより多くの町民の皆様にご参加をいただけるような交流会を検討してまいります。



日時：令和4年11月19日(土) 10:00～16:00  
11月20日(日) 10:00～15:00

場所：浪江町地域スポーツセンター

## 1 来場者数

日付	男	女	計
11月19日	14人	6人	20人
11月20日	16人	5人	21人
合計	30人	11人	41人

## 2 来場者年代

年代	人数	割合
20代以下	0人	0.0%
30代	3人	7.3%
40代	6人	14.6%
50代	8人	19.5%
60代	12人	29.3%
70代	7人	17.1%
80代	5人	12.2%
合計	41人	100.0%

## 3 震災時居住地区

地区名	人数	割合
① 浪江地区	16人	39.0%
② 幾世橋地区	3人	7.3%
③ 請戸地区	2人	4.9%
④ 苅野地区	4人	9.8%
⑤ 大堀地区	5人	12.2%
⑥ 津島地区	1人	2.4%
⑦ 町外	10人	24.4%
合計	41人	100.0%

## 4 現在居住地

地区名	人数	割合
① 町内	15人	36.6%
② 県内	20人	48.8%
③ 県外	6人	14.6%
合計	41人	100.0%

## 5 浪江町議会に対する要望や意見

内容	件数	割合
議員活動に関すること	14人	42.4%
議員定数に関すること	11人	33.3%
その他	8人	24.2%
合計	33人	100.0%

## 6 その他、国・県・町への要望

内容	件数	割合
町に関すること	20人	66.7%
国に関すること	5人	16.7%
その他	5人	16.7%
合計	30人	90.9%



## 7

## 浪江町議会に対する要望や意見（一部抜粋）

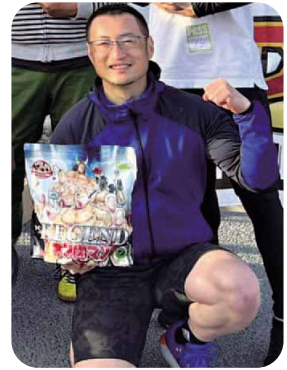
内 容	備 考
●町の人口を増やすように（若い人を）	活動
●議会でこのような活動をしているのは素晴らしい。	活動
●議員活動については、もう少しどんな活動をしているのかのせて欲しい。	活動
●町をよくするために頑張れ。	活動
●良い浪江町にして欲しい。	活動
●浪江町に住んでいる議員さんに期待しています。	活動
●議員は浪江町内に住んで浪江町のために活動して欲しい。	活動
●町外に避難している人の支援をして欲しい。 ●声を聞いて欲しい。	活動
●議員はみんな浪江町に住んでください。	活動
●議員定数を減らしてほしい。 ●町の現状を知って欲しい。 ●買い物、学校人数を増やしてほしい。	定数
●議員定数は一度減らしたので、今のままでよい。 (少なくなると、町民の帰還が妨げられることが考えられるため。)	定数
●議員定数については削減の必然性あり。	定数
●議員定数は減らさないほうが良い。(据え置き) ●サービスが提供できなくなる。	定数
●議員定数は14人が適当。 ●活動が見えない。	定数 活動
●議員定数は12名くらい。 ●浪江町内での活動、顔の見える活動をして欲しい。	定数
●議員定数については16人。 ●町に住んでいる方が納得していれば。(意見を聞け)	定数
●落合浪江線（葛尾側）の開通を早くして欲しい。	その他
●もっと盛り上げて人が来るようにしてください。	その他
●商工業に対してのバックアップを期待したい。 ●町内事業者が参入できるように働きかけたい。 ●現役世代の意見を聞く場が欲しい。	その他
●帰還する町民を増やすための施策を講じて欲しい。	その他
●創成小中学校にプールを早く設置して欲しい。	その他

## 8

## その他、国・県・町への要望（一部抜粋）

内 容	備 考
●交通の便の整備、大型店舗の進出、かかりつけ医が必要	町
●浪江町歴史展示場の設置。(学芸員の育成)(歴史を説明できる人の人材育成)	町
●各学校跡地にコミュニティセンターと消防車が配置されているようですが、町中にも消防車があったほうが良いと思います。	町
●電車の本数を増やしてほしい。 ●住宅をもっと増やしてほしい。 ●友人が移住したくても住むところがない。	町
●立地場所以外の雨水の対策。	町
●買物環境を充実して欲しい。	町
●病院関係を充実して欲しい。 ●救急体制を整えて欲しい。	町
●商業の活性化に努めて欲しい。	町
●若者の働く場所を作って欲しい。	町
●ライブ会場を作れ。(アリーナ規模) ●カジノを作れ。	町
●人口を増やす対策を立ててください。	町
●子育て環境を充実して欲しい。	町
●免許返納した場合、タクシー券。 ●会費3,000円(行政区)	町
●県外へ避難したが知り合いがいない。(孤立化) ●若い人が住める町づくり。 ●浪江町の魅力を作る。 ●原発の安全性(避難がすぐにできる環境づくり)	町
●入院できる病院が必要。	町
●浪江町がもっとにぎわって欲しいので、頑張ってください。	その他
●町の要望を県や国は聴いてください。	国
●国際教育機構、駅前グランドデザインでの復興に期待する。 ●将来の維持管理が心配です。	国
●東電賠償の継続を国から指導して欲しい。 ●再開事業者への手厚い国策を望む。(立地補助金の対象の再考)	国

# 町民の声



岩野 秀造さん  
(川添南)

## 若者で賑わう 活気のある 浪江町を

光陰矢の如し。東日本大震災から12年が経とうとしています。震災前から浪江町で建設業を営んでおり、避難生活を続けながら令和元年、ようやく浪江町に社屋を再建して町内での営業を再開することができました。

震災当日、津波で壊滅的被害を受けた請戸地区の災害瓦礫を、浪江町役場職員と涙を流しながら応急撤去した日を今でも思い出します。今ではその場所に大平山霊園が造られました。

依然終わりが見えない福島第一原子力発電所の廃炉問題、放射線に係る風評被害、町民の高齢化や人口の減少など様々な課題があります。

厳しい現実ですが、あの膨大

な災害瓦礫を根気強く集積し、撤去したように地道に歩を進めて行く他に道はありません。

福島イノベーション・コースト構想に関する企業誘致のための産業団地、大規模水素製造拠点の水素事業、浪江駅周辺整備計画などに加え、会社からすぐ見える場所に、世界最先端の研究・開発や人材育成の拠点となる福島国際研究教育機構の立地計画が進んでいます。

震災後、浪江町はどんどん変わっていきますが、一つの世もこの地域を支えてきたのは町民の熱い地元愛だと思っています。

昨年は町民の有志により、相馬野馬追、十日市、12年ぶりに國玉神社の盆踊り、東北五大やきそばサミットが開催されました。

町民が交流して楽しむ文化活動が行えるようになり、町に活気が戻ってきて初めて復興と言えるのではないのでしょうか。

日本の人口減少幅は拡大し続けていますが、浪江町は令和17年までに目標人口8000人を設定。魅力ある最先端の産業等を誘致し、移住・定住を推進させる施策は、新しい浪江町を未来へ残す素晴らしい取り組みだと思います。加えて、地域産業

「町民の声」に掲載する  
原稿を募集しています。

.....

議会に対するご意見、要望、感想等をお寄せいただける方は、浪江町議会事務局 (☎0240-34-0254) または、議会報編集特別委員にご連絡ください。

の担い手である若者を学生のうちから育てるという取り組みも必要ではないでしょうか。例えばですが、地域産業に関連した専門分野での学校を開校して、県内外から学生を募り、卒業した際は浪江町の企業に就職して町民になっていただく。地元企業も担い手の高齢化や人材不足を嘆いていますが、学生のアルバイトや就職はこれらを解決してくれると思います。

私も商工会青年部ですが、後に続く若者がいなくては先の文化活動の伝承が行えません。

町議会の皆様には、先人の文化や技術を伝承していく「若者で賑わう活気のある町づくり」をお願いしたいと思います。

## 編集後記

立春の候、町民の皆さま方におかれましては、ますますご清栄のこととお喜びを申し上げます。

2023年も明け1か月が過ぎようとしていますが、12年前の兎年は、東日本大震災及び原子力事故災害が発生した年でもありました。

しかし未だに我が故郷浪江は復興・復旧の途上にあります。着実に一步一步進んでおります。ウィズコロナの時代は続きますが、兎年は飛躍の年でもあります。生活が大きく向上する年になって欲しいものです。

まだまだ寒い日が続きますので、健康に留意されお過ごしください。(紺野)

### 発行責任者

議長 平本佳司

### 議会報編集特別委員会

委員長 高野 武

副委員長 紺野 武豊

委員 武藤 晴男

吉田 邦弘

小澤 英之

佐々木 茂